

エコアクション21

環境経営レポート



2023年 6月26日作成

取組期間 2022年4月1日～2023年3月31日

射水工業株式会社

【目 次】

1. 事業概要
2. 環境経営方針
3. 実施体制
4. 環境経営目標
5. 環境活動計画
6. 環境経営目標とその実績
7. 環境経営の取組結果の評価、次年度の取り組み内容
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

1. 事業概要

1) 事業所名及び代表者

射水工業株式会社

代表取締役 高橋 達也 (令和5年6月 変更)

2) 所在地

〒939-0234 富山県射水市二〇2487-1

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

EA-21 責任者：北 康宏

EA-21 事務局：殿村 由起子

TEL：0766-52-0336 FAX：0766-52-0386

E-mail：jimuso@imizukogyo.co.jp

4) 認証登録の範囲

事業所：本社

事業内容：建設業

(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業)

5) 事業規模

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	432	839	744
従業員	人	17	17	19
床面積	m ²	298.45	298.45	298.45

※年度4月～3月

2. 環境経営方針

基本理念

地域の自然環境や行政、地元との調和を尊重し、会社内での事業活動で生じる環境問題に取り組み、河川工事、道路工事を含む土木工事で発生する環境負荷の低減、改善に取り組みます。

行動指針

- 事業活動に伴う電力、燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 事務所でのごみの分別徹底及び現場での建設資材の再生資源化を行い、リサイクルの推進に努める
- 水の使用量削減
- 河川工事等での濁水による水質汚染の軽減
- 環境への取り組み、関係法令を全従業員に周知遵守し、環境問題に継続的に取り込む

☆上述の環境経営方針に沿って事業活動を行い、環境関連の法規、条例の推進に努め、環境への取り組みを全従業員に周知するとともに、一般にも公表する。

2009年11月7日制定

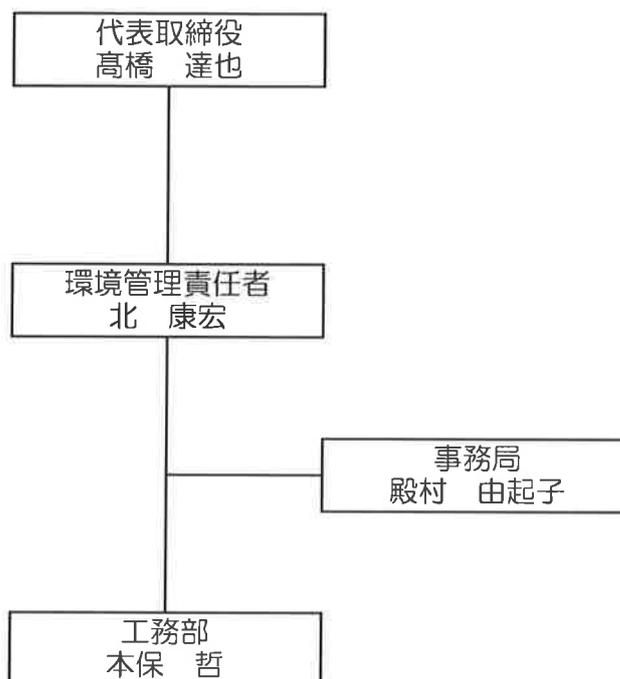
2023年 6月6日改定

射水工業株式会社

代表取締役 高橋 達也

3. 実施体制

環境管理組織図



役職	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の決定 環境管理責任者の指名 資源（人材、資金、技術）の用意 システムの見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> システムの総責任者としての役割権限を他の責任に関わらず持つ システムの実績を代表者に報告
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 全体の計画立案 文書の作成、管理 一般教育の実施 システム運用上の事務管理
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 部門の計画立案 作業教育の実施 実施状況の確認、記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 自主的、積極的に環境経営活動へ参加

4. 環境経営目標

2019年度の実績を基準年度とします。

【事務所】

項目		単位	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			基準年度	目標	目標	目標	目標
電力	電力使用量	KWh	20,517	19,901	19,696	19,491	19,286
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	10,792	10,468	10,360	10,252	10,144
化石燃料	ガソリン使用量	L	5,640	5,471	5,414	5,358	5,302
	灯油使用量	L	176	171	169	167	165
	LPG使用量	kg	26	26	25	25	25
	二酸化炭素排出量計	kg-CO2 基準比	13,601	13,194 -3.0%	13,058 -4.0%	12,922 -5.0%	12,785 -6.0%
水使用量		m3 基準比	75	73 -3.0%	72 -4.0%	71 -5.0%	71 -6.0%
一般廃棄物排出量		kg	295	286	283	280	277

【現場】

項目		単位	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			基準年度	目標	目標	目標	目標
電力	電力使用量	KWh	8,225	7,978	7,896	7,814	7,732
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	4,326	4,197	4,153	4,110	4,067
化石燃料	ガソリン使用量	L	5,923	5,745	5,686	5,627	5,567
	軽油使用量	L	117,193	113,677	112,505	111,333	110,162
	灯油使用量	L	220	213	211	209	207
	二酸化炭素排出量計	kg-CO2	316,646	307,147	303,981	300,814	297,648
産業廃棄物排出量		t	1,174	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理
		リサイクル率	100%	100%	100%	100%	100%
濁水処理		対応率	100%	100%	100%	100%	100%

- ・化学物質は使用してません。

5. 環境経営計画

環境経営目標達成手段として、下記の環境活動に取り組めます。

1) 事務所

項目	内容		担当者
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	冷暖房の適正温度設定	事務局
		不要電源のOFF	
		昼休みの消灯	
		全灯LED電球導入	
		エアコンフィルターの掃除	
	化石燃料の削減	アイドリングストップの徹底	事務局
		エコドライブの推進	
		法定速度の遵守	
		不要荷物の積載禁止	
		灯油ストーブ適正温度、不在時の消火 給湯器は冬季のみ使用	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量の削減	裏紙を積極的に利用する	事務局
		電子化を促進する	
		両面コピーを徹底する	
		資源ごみを分別、焼却ごみの削減	
水使用料の削減	節水呼びかけ		事務局
	水漏れ、蛇口の閉め忘れチェック		
	洗濯物はまとめて洗い、すすぎ1回		
地域社会貢献活動	防災活動・鮎の放流参加		事務局
	地域ボランティアの参加		

2) 現場

取組項目	取組内容		担当者
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	冷暖房の適正温度設定	環境管理責任者
		不要電源のOFF	
		昼休みの消灯	
		ソーラー式装置の使用	
	化石燃料の削減	アイドリングストップの徹底	環境管理責任者
		エコドライブの推進	
		法定速度の遵守	
		不要荷物の積載禁止	
		タイヤ空気圧の適正維持	
		低燃費施工機械の導入	
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量の削減	マニフェスト回収照合	環境管理責任者
		施工計画通りの処理	
		分別徹底	
		整理整頓(3定：定位置・定品・定量)	
環境に配慮した施工	濁水による水質汚染の軽減		環境管理責任者
	騒音・振動などの予防		

6. 環境経営目標とその実績

2022年度の目標とその実績

1) 事務所

項目	単位	2019年度	2022年度		達成率	評価	
		基準年度	目標	実績			
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	24,393	23,662	21,539	110%	◎	
電力	電力使用量	KWh	20,517	19,901	23,534	85%	△
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	10,792	10,468	12,379	85%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	5,640	5,471	3,518	156%	◎
	灯油使用量	L	176	171	364	47%	×
	LPG使用量	kg	26	26	31	84%	△
	二酸化炭素排出量計	kg-CO2	13,601	13,194	9,160	144%	◎
水使用量	m3	75	73	73	100%	◎	
一般廃棄物排出量	kg	295	286	259	111%	◎	

- ・電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力2018年度調整後排出係数0.526(kg-CO2/kWh)を使用。
- ・評価：達成率100%以上◎、90~100%未満○、70~90%未満△、70%未満×

2) 現場

項目	単位	2019年度	2022年度		達成率	評価	
		基準年度	目標	実績			
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	320,972	311,343	488,258	64%	×	
電力	電力使用量	KWh	8,225	7,978	20,125	40%	×
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	4,326	4,197	10,586	40%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	5,923	5,745	7,289	79%	×
	軽油使用量	L	117,193	113,677	177,824	64%	×
	灯油使用量	L	220	213	794	27%	×
	二酸化炭素排出量計	kg-CO2	316,646	307,147	477,672	64%	×
産業廃棄物排出量	t	1,174	適正処理	1,304	適正処理	◎	
	リサイクル率	100%	100%	100%	100%		
濁水処理	対応率	100%	100%	100%	100%	◎	

- ・電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力2018年度調整後排出係数0.526(kg-CO2/kWh)を使用。
- ・評価：達成率100%以上◎、90~100%未満○、70~90%未満△、70%未満×

7. 環境活動の取組結果の評価、次年度の取り組み内容

<二酸化炭素排出量の削減について>

①電力使用量の削減について

【事務所】

エアコンの温度設定、不要照明の消灯、昼休みの消灯などを継続中。しかし、使用量削減とならなかった。更なる節電に努める。

【現場】

不要照明の消灯、昼休みの消灯の徹底、ソーラーパネル保安設備の使用継続中。工種や現場環境の違いがあるので単純比較は困難。今後も仮設計画、施工方法の検討などで、積極的に節電に努めたい。

・ソーラー式照明の使用、LED照明の使用

保安設備等で積極的にソーラー式設備を使用した。従来は仮設電気や、発電機等で電力の供給していたが、ソーラーパネルを使用することで電力使用量の削減に努めた。



・エアコンの温度設定

本社、現場事務所ともにエアコンの設定温度を設け節電を図ったが、コロナ対策として窓を解放した状態でエアコン使用したため、業務上、支障のない温度設定となり、消費電力増加の一因になったと考えられる。効率の良い換気等で消費電力の軽減に努める。



②化石燃料使用量の削減について

【事務所】

化石燃料は、灯油使用量が削減できなかった。
特に冬季はファンヒーターを使用するので、化石燃料使用量が増える。
使用削減に努めていきたい。

【現場】

化石燃料の使用量は増加した。
受注額の増減少や施工内容の違いなど比較は困難である。
低燃費車、低燃費建設機械の導入、効率的な施工計画等の取組をおこない
燃料の削減に努める。



マシンガイダンスを導入し施工の効率化、工期の短縮を図った。



コンクリート養生に従来ジェットヒーターを使用していたが、電熱
マットを採用し灯油の使用量低減を図った。

<廃棄物排出量の削減について>

①一般廃棄物の削減

【事務所】

一般廃棄物は削減できた。単純焼却量の削減に努めた。
裏紙の利用、両面コピー、電子化の促進、不要FAXの削減等の活動継続に、
資源ごみの分別にも意識し定着してきた。

②産業廃棄物の削減

【現場】

適正処分をおこなっている。今後も法令に則り適正処分をおこなう。

<総排水量の削減について>

水道水使用量の削減

【事務所】

水道水使用量削減は、目標を達成。
今後もこまめな止水等の節水活動に積極的に取り組み、不自然な使用料の
増大(漏水等)に注意し活動を継続する。

<濁水処理について>

工事等での水質汚染の軽減

【現場】

現場で濁水が大量に発生する事が予測されたため、濁水処理装置を設置した。
各現場により環境は違うが、適正に濁水処理を行い各現場の環境保全に努めたい。

沈砂池の設置



<その他の活動>

地域活動貢献

【事務所・現場】

水防訓練の参加や、現場周辺道路の清掃など、今後も地域活動に参加する。



千曲川水害での排水作業



庄川清掃活動

<次年度の取り組み内容>

令和6年度の環境活動計画は、前年度の計画内容を継続します。
目標未達成項目があるが、活動自体は安定していると思う。
更なるエコ活動を推進。

8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社でまとめた法的要求事項チェックリスト及び環境関連法規等登記簿により確認をした結果、環境関連法規への違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘及び訴訟等についてもありませんでした。

9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

		承認	作成
		高橋	北
		代表者	環境管理責任者
作成日：令和5年6月8日			
記入者	報告	コメント・提案	評価・指示事項・変更の必要性
環境経営目標及び運用結果	環境管理責任者	代表者	
環境経営目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 購入電力は、事務所・現場ともに使用量が増えた。 化石燃料は、事務所は削減できたが、現場は削減できなかった。 水の使用量は、目標達成。 一般廃棄物の排出量は、削減できた。 	<ul style="list-style-type: none"> エコ意識は高まっているが、コロナ対策による窓を解放した状態での冷暖房の運転が、消費電力増加の一因と考えられる。 受注する工事によって化石燃料の使用量が大幅に変動するが、それ以外の使用量で削減に努める。 節水活動が定着している。 市の分別方法に従い、更なるリサイクル等に取り組む。 	指示事項 <ul style="list-style-type: none"> データを拾い報告することと、社内会議でも取り上げる。 今後も事務所、各現場ともに積極的に節電、燃料消費の削減に努める。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
環境経営方針	<ul style="list-style-type: none"> 社内掲示等により、社員に周知し、方針に沿って行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> このままの環境経営方針で継続したい 	指示事項 <ul style="list-style-type: none"> このまま経過を観察する。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
環境法規の遵守状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連法規等遵守状況 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての項目について遵守されている事を確認した。 	指示事項 <ul style="list-style-type: none"> 問題なし。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
外部からの苦情や要望	<ul style="list-style-type: none"> 苦情、要望等なし。 		指示事項 <ul style="list-style-type: none"> 問題なし。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
その他・社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練に合わせ、緊急事態の訓練を継続的に実施する。 突然の豪雨など災害に対する備えを行う。 	指示事項 <ul style="list-style-type: none"> 問題なし。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無